

～航空局からのお知らせ～

[2025年7月9日]

★Dirty Dozen (ダーティ・ダズン) (その2)

No. 89 のメールマガジンにて「Dirty Dozen (ダーティ・ダズン)」のうち「Lack of Communication: コミュニケーション不足」に焦点をあてて紹介したところですが、今回は「Pressure: プレッシャー」及び「Distraction: 注意力の欠如」に焦点をあてて紹介します。

(Dirty Dozen の概要及び「Lack of Communication: コミュニケーション不足」については No. 89 のメールマガジンを参照 URL: <https://www.mlit.go.jp/koku/content/001840145.pdf>)

1. Pressure: プレッシャー

航空機の操縦は、時間的な制約、天候の悪化、機器のトラブルなどがプレッシャーとなり、操作を急いだり、確認不足や手順の省略につながる可能性があることから、プレッシャーは安全運航に影響を及ぼす要素とされます。過去には、反復継続する遊覧飛行のスケジュールを守らなければならないというタイムプレッシャーがある中で、滑走路の安全確認を十分に行わないまま離陸した結果、重大インシデントが発生した事例もあります。

プレッシャーによるヒューマンエラー発生の対策としては、急な操作を避けて操縦に余裕を持つことや、天候の悪化や機体の異常など、少しでも不安を感じたら、飛行を中止したり、引き返したりすることを早期に判断することが挙げられます。

また、運輸安全委員会が令和4年10月15日に公表した航空重大インシデント調査報告書によると、「遊覧飛行等の短時間で反復継続するような運航の場合、時間的なプレッシャーがワークロードを高め、思い込みや見落としを誘発する可能性があることから、余裕をもった計画とすることが重要である」と分析されています。

なお、外圧プレッシャーへの対策については、No82のメールマガジンでも紹介した PAVE チェックリストの活用が有効です。

メールマガジン No. 82 PAVE チェックリスト

<https://www.mlit.go.jp/common/001733910.pdf>

令和4年10月15日発生の重大インシデント調査報告書

https://jtsb.mlit.go.jp/aircraft/rep-inci/AI2023-8-2-JA6113_JA871B.pdf

2. Distraction: 注意力の欠如

航空機の操縦は、常に複数のタスクを同時に、かつ正確に処理することが必要であることから、様々な要因で精神的負荷が増加した結果、重要な操作や確認への注意力が欠如することがあります。

運輸安全委員会の航空事故・重大インシデント調査報告書では、パイロットの注意力の欠如が事故等の一因となったと考えられる事例が複数報告されています。例えば、出発の遅れやエンジン始動時の不具合というスレットが顕在化したことで、他のことに対する注意力が低下した結果、滑走路手前において待機しなければならないことを失念したケースなどが挙げられます。

注意力の欠如は、騒音、振動、計器の不具合などの外部要因だけでなく、疲労、ストレス、体調不良、個人的な悩みなどの内部要因によっても引き起こされます。

注意力の欠如への対策として以下の例が挙げられます。

○危機意識の維持：常に「何か異常はないか」「次はどのような状況が予測されるか」と自問自答し、状況認識を継続的にアップデートする。

○手順の厳守：チェックリストの読み上げや手順の厳守は、注意力の欠如による見落としを防ぐ最も基本的な方法です。

○「ステライル・コックピットルール」の徹底：他の操縦士や関係者が搭乗する場合は、操縦士の注意力・集中力を阻害するような行動や不必要な会話は慎むルールを徹底する。

(参考)

注意力の欠如が起因した事故事例

航空事故調査報告書

平成 29 年 6 月 29 日発生の事故（機長の注意力の低下）

<https://jtsb.mlit.go.jp/aircraft/rep-acci/AA2018-3-1-JA5304.pdf>

注意力の欠如が起因した重大インシデント事例

航空事故調査報告書

平成 25 年 9 月 10 日発生の重大インシデント（機長の注意力の低下）

<https://jtsb.mlit.go.jp/aircraft/rep-inci/AI2015-6-1-JA06NR-JA605A.pdf>

※本メールは7月9日（水）時点で航空局へ電子メールアドレスを登録頂いている操縦士の皆様にお送りしております。

※これまで配信したメールマガジンは、こちらから確認できます。

https://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000012.html#backnumber

※メールアドレス変更や配信停止の場合は、お手数ですが本メールに返信する形でご連絡をお願いいたします。

国土交通省 航空局 安全部安全政策課

MAIL : hqt-kogataki@mlit.go.jp

TEL : 03-5253-8111

小型航空機安全対策係（内線 50135）

特定操縦技能審査担当（内線 50136）

～X(旧 Twitter)もやっています～https://twitter.com/mlit_kogataki
